

堺市子ども・子育て支援事業計画 地域子ども・子育て支援事業

①事業番号	(11)
②事業名	ファミリー・サポート・センター事業
③所管課	子ども青少年局 子ども青少年育成部 子ども育成課
④事業内容	<p>子育ての応援をしたい方(提供会員)と子育ての応援を受けたい方(依頼会員)からなる相互援助活動を行う会員組織を運営します。会員登録を希望する市民が、ファミリー・サポート・センター事務局が実施する研修を修了すると会員登録され、相互援助活動を行います。同センター事務局は、依頼会員からの依頼内容に応じることができる提供会員を調整して双方に紹介し、双方合意の上、活動が開始されます。</p> <p>円滑な相互援助活動をめざし、提供会員を増やすため、広報活動により力を入れて取り組むとともに、より安心安全な援助活動を行っていくために、提供会員向けの研修を充実させていきます。</p>

【第2期事業計画の量の見込み・確保方策】

⑤量の見込み      ■調査結果に基づく国算出方法を使用(小学生)    ■国算出方法を使用しない(就学前)    □その他

(単位:活動件数)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
⑥量の見込み※ 就学前 (独自算出方法)	5,416	5,416	5,416	5,416	5,416
⑤量の見込み 1～3年生 (調査結果に基づく国算出方法)	4,151	4,072	3,984	3,947	3,810
⑤量の見込み 4～6年生 (調査結果に基づく国算出方法)	3,491	3,407	3,315	3,210	3,149
⑦確保方策 就学前	5,416	5,416	5,416	5,416	5,416
⑦確保方策 1～3年生	4,151	4,072	3,984	3,947	3,810
⑦確保方策 4～6年生	3,491	3,407	3,315	3,210	3,149

⑥※ 「国の『量の見込み』の考え方を使用しない」とした場合の量の見込みの算出方法	【量の見込みの算出方法】
	<p>■就学前児童 調査結果に基づく国算出方法による量の見込みは、近年の延べ活動件数と比して乖離があるため、H28～30年度における延べ活動件数の実績を基に算出。また、これまで教育・保育施設の増設に伴う延べ活動件数(送迎)の増加の傾向がみられなかったため、今後も一定水準を維持するものと想定。</p> <p>■1～3年生及び4～6年生 調査結果に基づく国算出方法による見込み量とする。</p>

## 【実績】

(単位:活動件数)	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度(見込み)
⑧計画策定時及び中間見直し時の量の見込み(就学前)	9,582	10,324	11,066	5,300	5,300
⑧計画策定時の量(需要)の見込み(就学後)	7,736	7,881	8,026	7,600	7,600
⑨確保方策の実績(就学前)	6,379	5,249	5,644	5,357	5,300
⑨確保方策の実績(就学後)	8,703	7,651	6,280	6,176	7,600

## 【実績】

⑩確保数の実績の算出方法	延べ活動件数
--------------	--------